

燃料電池バスの走行実証実験について

資料 4

平成 27 年 7 月 30 日
東京都交通局

水素社会の実現に向けた東京都戦略会議での位置づけ

【課題 2】燃料電池車・バスの普及

戦略目標

燃料電池バス：2020年までに計画的に100台以上の導入を目指す
(都バスに先導的に導入)

(取組の方向性と具体的取組)

- 燃料電池バスの計画的な導入
 - ・2015(平成27)年度 都バスでの実証実験を目指す

走行実証実験

○ 目的

渋滞や頻繁な車線変更など、大都市特有の交通事情に応じた水素消費量やバスの操作性に関する乗務員の意見等をメーカーにフィードバックし、車両開発に反映してもらうことで、市場投入に際しての都営バスへのスムーズな導入を目指す。

○ 走行期間

7月27日(月)～7月30日(木)

○ 運行形態

- ・都営バス営業所を起点に、営業運行ではない実験・回送運行
- ・都心部及び臨海地域における路線バスルートを中心に走行

○ 確認・調査内容

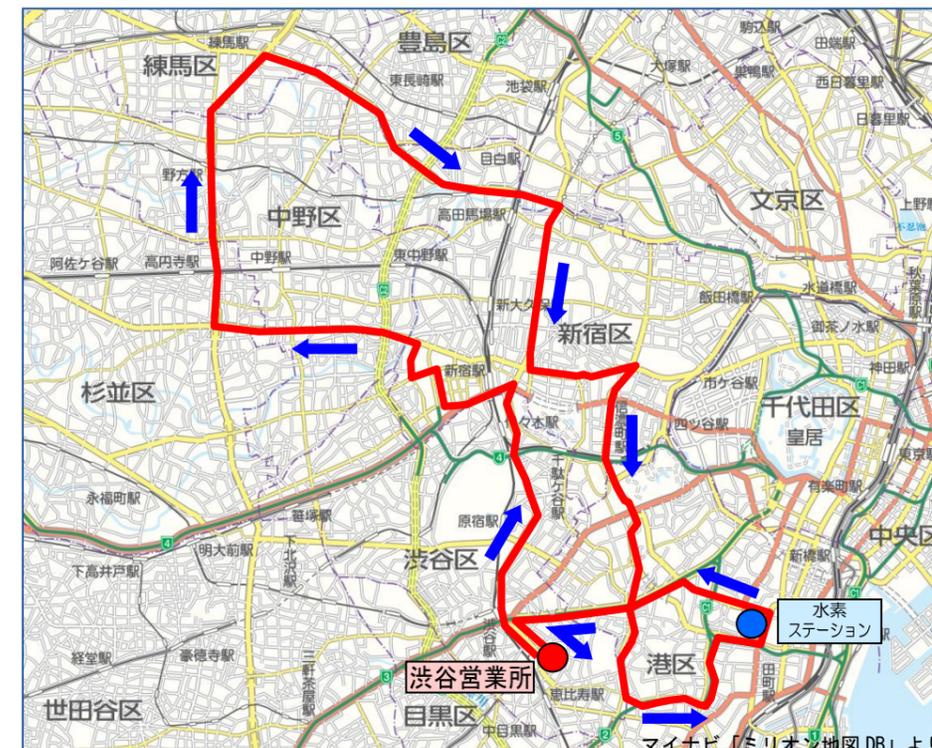
次の事項の確認・調査を実施

- ・車両性能：走行性能、燃費性能、快適性
- ・整備性：燃料電池と関連システムの点検整備内容や作業方法など
- ・水素充填：充填時間、作業手順

※：本実証実験は、トヨタ自動車株式会社と日野自動車株式会社における今後の市場導入に向けた技術開発上の走行性能等の検証へ東京都が協力をするものです。

走行実証実験の走行ルート

都心ルート：7月27日、29日



臨海ルート：7月28日、30日

